

「明るい社会」の意義 三正行 正知 正判 正行

宇宙では陰陽が存在しており、相互調和を通じて、生成、変化しながら消えていくことを見ることができる。自然現象において陰陽は必要な存在であり、如何にして結合して調和するかによって、実体を違えるに至る。

人間において「明るさ」とは、「善」を指向して、正知、正判、正行を続け、正しい目標を目指すことである。「明るさ」とは人間社会において、生成がなされ、発展する原理であり、幸福の源泉である。

総ての成功は「明るさ」から訪れ、総て喜びある人々の幸福は明るさから訪れる。暗闇は、分裂、疾病、衰退を意味する。そのため、人間の明るい社会は次世代に受け継がれ、暗闇にある人間は分裂、破壊、闘争の社会を生きていくことになる。

暗闇を社会で完全に除くことは難しい。しかし暗闇をそのままに放置している場合は、明るさは蝕まれ、暗さが拡大するかもしれない。今日、私達の社会に、暗い要素が急激に増大していることも見受けられる。人間関係が情を育てるよりは、合理と利益が前提になり、悠久の歴史の中で育まれてきた隣人関係が、ここ数十年の間に破壊されてきた。このような点で、暗闇を追い払い、明るさを育てる社会運動の設立が要求されるようになった。

<http://blog.daum.net/bodyadjust/128>

GCS 明るい社会運動とは

明るい社会運動は、善意、協同、奉仕に寄与する三大精神を育て、健全な社会運動を育てる運動、自然愛護運動、人間復権運動など、世界平和運動などの五大運動を展開する汎世界的運動である。

ロゴ

円で囲まれた地球は、世界化時代の地球村を象徴し、GCSは善意 (Goodwill)、協同 (Cooperation)、奉仕寄与 (Service) の精神とともに、明るい社会運動を意味し、オウトピアは、当為的 (必然的にそうなることに対して、かくすべしと要求されること) 要求社会、すなわち、精神的な美にふさわしく、物質的にも豊かで、人間性を指向する地球協同社会建設を意味する。



<http://www.gcs-ngo.org/?module=Html&action=SiteComp&sSubNo=1>